



新コーナー
江府町立図書館の本棚
「こんな本あります！」
監修：江府町立図書館館長 宇田川 恵理

こんにちは！江府町立図書館の宇田川です。江府町立図書館の本棚にある、ちょっと気になる「こんな本」を、紹介していきたいと思えます！



『世界で最後の花 絵のついた寓話』
ジェームズ・サーバー作 村上春樹訳（ポプラ社）

戦争により文明は破壊され、人々は無気力に生きるだけの存在になった世界。そんな中、最後に残った一輪の花を、ひとりの娘と若者が育て始めます。これがきっかけとなって、失われた家や町、音楽や文化が戻り、人々には笑顔がよみがえるのですが……。短いフレーズとイラストで、戦争の恐ろしさと平和への祈りを描いた1冊。この本が描かれたのは1939年、第2次世界大戦が始まる直前でした。その後の世界を、著者はどのような思いで見いていたのでしょうか。



平和への
祈りがこ
もった2冊

宇田川館長

『秋』かこさとし作（講談社）

『からすのパンやさん』などで知られる絵本作家かこさとしさんが、自分の戦争体験を絵本にしたものです。昭和28年から57年にかけて手を入れておられた作品で、死後刊行されました。戦争中、盲腸で入院した高校生（著者）が体験した、戦争の悲惨さや悲しさを、独特のタッチのクレヨン画で描いています。作品に込めた思いが切々と伝わる1冊です。



江府町地域おこし協力隊通信



ふくしま すくる
福島 優

新甘泉（梨）推進マネージャー
（活動内容：新甘泉の栽培技術の習得、梨園の管理など）

猛暑が続くこの頃、梨園の中は40度を超える日もあり、一日作業をしていると目まいがしてきます。梨の実はい日大きくなり、今年は大玉が期待できそうです。

そういえば先日、江府学園の生徒さんと一緒に梨の摘果（不要な果実を取り除く作業）と袋掛け作業を行いました。

袋を掛けてもらった実が落ちないことを祈りつつ、夏の終わりに収穫体験をしてもらう予定です。



やまだ あさひ
山田 朝陽

奥大山フランド推進コーディネーター（活動内容：奥大山フランド商品の発掘、開発支援など）

早いことに梅雨が明け、一年の半分がすでに終わりました。そんな中、私のメイン業務である奥大山フランドに関する仕事が増え、奥大山モールでの送料無料キャンペーンの実施等で大変忙しい日々を送っています。私の任期があと半年くらいしかないので今度のことも考え、後悔しないようこの調子で頑張っていきたいです。



あんどう のぞみ
安藤 望

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務など）

地元の方から提供していただいた笹に、短冊を吊るしてお願いをしました。皆の願いが叶うことを信じています。

晴れた日は、天の川を見ることができ、織姫と彦星は出逢えたのだろうかと思いを馳せました。6月は、日野川周辺で遊ぶ虫に出くわし、癒されるひと時でした。

